

市民の負託を受けて

新市長に

前田晋太郎氏



3月12日、任期満了に伴う下関市長選挙と下関市議会議員補欠選挙が行われました。

開票の結果、市長選挙では前田晋太郎氏が当選し、市議会議員補欠選挙では星出恒夫氏が当選しました。前田市長に今後の抱負などを語っていただきました。

元気な下関を！

3月27日付で下関市長に就任した前田晋太郎です。

市民の皆さんの負託を受け、その重責に身が引き締まると同時に、下関を元気にしたいという気持ちでいっぱいです。ご期待にこたえられるよう、市政運営にまい進してまいります。

日本全体が人口減少社会に入っている中、本市においても

少子高齢化、人口減少、若者の流出、財政状況の悪化など、課題が山積しています。

これらの課題に、若さを前面に出し、既成概念にとらわれず、謙虚に丁寧の説明し、理解をいただきながら取り組み、市政を推進したいと思っています。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

しものせき
ナビ
vol.76

行って！学んで！博物館！

高杉晋作遺愛
小硯

櫻山神社蔵
下関市立歴史博物館寄託



高杉晋作肖像



奇兵隊の結成、下関戦争の講和談判、功山寺決起、四境戦争での小倉口の戦いなど、幕末の下関を舞台に活躍した高杉晋作今年、晋作の没後150年に当たります。そこで今回は晋作に関する資料を紹介します。

この硯は晋作の遺品として櫻山神社に伝わったものです。縦約8センチ、横約5センチの小さな硯で、木製の蓋と袋が付属しており、携帯用と考えられます。右上にカニの装飾が施されている点が特徴的です。

国を憂い、東奔西走した晋作が遺した多くの手紙や記録、

詩歌には、長州藩を取り巻く緊迫した状況や、晋作が訪れた国内各地の様子が記されています。上海に渡航した際には、西欧列強の圧倒的な力を前にした心情を打ち明けており、当時の世界情勢を今に伝えてくれます。

さらには、晋作の身を案じる家族や行動を共にした友への気遣いなど、心の内を綴ったものも多く、晋作の豊かな心情を知ることが出来ます。

豪胆な行動が注目されがちな晋作ですが、繊細で丁寧な筆遣いからは、晋作の意外な一面が垣間見られるのではないのでしょうか。

今回紹介した硯は、晋作が旅先などで手紙や詩歌などを書く際に使用したものと考えられます。晋作のさまざまな感情に触れた硯を通して、晋作の生きた時代に思いをはせてください。